

細胞間情報伝達学Ⅱ

Intercellular Signal Transduction Ⅱ

単位数：5単位

- 矢野彰三 准教授：臨床検査医学
金崎春彦 准教授：周産期母子医療センター

1. 科目の教育方針

生体のもつ細胞間情報伝達システムに関する最新の知見、研究動向を紹介し、今後の研究課題を考える。臨床的な視点を含め、血液を介した細胞間情報伝達、組織における細胞間情報伝達、これらに応用した治療法に関する研究トピックスを紹介する。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 臨床的な視点から生体のもつ細胞間情報伝達システムに関する最新の知見、研究動向を理解する。
- 2) 生殖内分泌に関する最近の知見、研究動向について理解する。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 血流を介した細胞間情報伝達に関する最新の知見を理解し、今後の研究課題を考えることができる。
- 2) 生殖内分泌器官の情報伝達に関する最新の知見を理解し、今後の研究課題を考えることができる。
- 3) 組織における細胞間情報伝達に関する最新の知見を理解し、今後の研究課題を考えることができる。
- 4) 生体の持つ細胞間情報伝達システムを応用した治療法に関する最新の知見を理解し、今後の研究課題を考えることができる。

3. 教育の方法、進め方

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。講義は主としてオンラインで行うこととし、Teams 等によるライブ配信を中心にオンデマンドを併用する。講義方法に変更（オンライン⇒対面等）がある場合には都度、連絡を行う。

4. 成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率（2/3 以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

特になし。

6. 教育内容

回	講義テーマ	内容	担 当
1	細胞間情報伝達系概論	細胞間情報伝達系の意義や特徴を概説する。	金崎春彦
2	生活習慣病（糖尿病、高脂血症）と細胞間情報伝達系	糖尿病、高脂血症の病態における細胞間情報伝達の関与を概説する。	矢野彰三
3	カルシウム骨代謝疾患と細胞間情報伝達系	カルシウム骨代謝疾患の病態における細胞間情報伝達の関与を概説する。	矢野彰三
4	生殖内分泌細胞における細胞間情報伝達システム 1	生殖に関わる内分泌臓器間での情報伝達、その意義と特徴について概説する。	金崎春彦
5	生殖内分泌細胞における細胞間情報伝達システム 2		金崎春彦
6	腎不全・加齢と細胞間情報伝達 1	腎不全・加齢に伴う細胞間情報伝達系の変化につき概説する。	矢野彰三
7	腎不全・加齢と細胞間情報伝達 2		矢野彰三
8	免疫系における細胞間情報伝達	免疫系における細胞間情報伝達の最新の知見、研究動向を紹介する。	金崎春彦
9	細胞間情報伝達と薬物 1	細胞間情報伝達と薬物に関する最新の知見、研究動向を紹介する。	金崎春彦
10	細胞間情報伝達と薬物 2		矢野彰三
11	細胞間情報伝達演習 1	細胞間情報伝達に関する最新の知見を理解し、今後の研究課題を考える。	各教員
12	細胞間情報伝達演習 2	細胞間情報伝達に関する最新の知見を理解し、今後の研究課題を考える。	各教員
13	細胞間情報伝達演習 3	細胞間情報伝達に関する最新の知見を理解し、今後の研究課題を考える。	各教員
14	細胞間情報伝達演習 4	細胞間情報伝達に関する最新の知見を理解し、今後の研究課題を考える。	各教員
15	細胞間情報伝達演習 5	細胞間情報伝達に関する最新の知見を理解し、今後の研究課題を考える。	各教員